

ふなやま

第19号

文化祭のうどん・ぜんざいに携わって

下六人部地区福祉推進協議会 事業部長

いずみ会代表

芦田

桜のつぼみも一段と大きくなり、春の訪れが待ち遠しいこの頃ですが、下六人部学区の皆様方におかれましては、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

私たちいずみ会は、福知山市の地域福祉活動・施設活動に参加するボランティア団体です。下六人部においては、各種団体様の方々とともに福祉推進協議会に入らせて頂いております。

さて、昨年十一月五日(日)の下六人部学区文化祭には、事業部担当として「うどん」・「ぜんざい」の販売に協力しました。文化祭に向けての事業部会で前年同様うどん一〇〇〇食・ぜんざい四五〇食と決定。当日に向けてそれぞれの商品の発注、買い物など役割分担を決め、準備に取りかかりまし

た。文化祭前日には、商品の搬入確認・器具の設置や持ち帰りうどん五〇〇食を袋詰めにし準備万端整い解散。ぜんざいは、当日早朝より小豆を炊いて頂きました。

当日は、天気もよく開店準備も整い、うどんの湯きりを光保育園保護者会の若いお父さん二人にも応援頂きながら、それぞれの配置場で声を掛け合い手際よく注文をこなし、湯気の上がつた熱々を召し上がって頂きました。好天に恵まれ、持ち帰りうどん五〇〇食の袋もほぼ解体して食して頂きました。

また、ぜんざいにおいても、甘く美味しく炊けた小豆にふくら焼けたお餅を加えて召し上がって頂きました。お陰様でどちらも「美味しかった」

との声を聞き、前日からの疲れも吹っ飛んだ気がしました。多数の方々のご利用をいただき「うどん」「ぜんざい」ともに完売！皆様のご協力で、事故も無く終わることができ大変嬉しく思いました。多くの方々との「出会い」「ふれあい」を体験でき、嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。後になりましたが、学区の皆様にはご協力頂きありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。



下六人部小学校六年生との交流

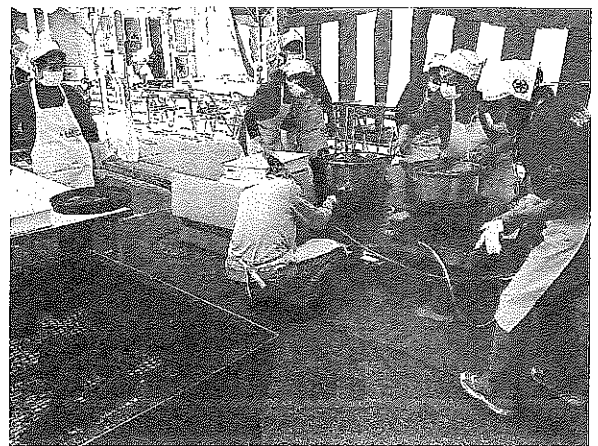
「食育の授業をさせていただいて」

下六人部福祉推進協議会 福祉部長
食生活改善推進員代表

吉良

昨年十二月十五日(金)に下六人部福祉推進協議会福祉部では、下六人部食生活改善推進員が中心となって、六年生の皆さんに食育授業をさせていただきました。

学校での授業は初めてなので会員はドキドキ…。担任の先生と連携し、主に「朝食の役割について」授業をすることになりました。内容や掲示物など検討し、いよいよ当日。元気な声で



「おはようございます」と子ども達は明るく元気いっぱい迎えてくださいました。市合唱祭での歌を聴かせてもらい和やかな中、私たちの話を真剣に聞いてくださって言葉のキャッチボールも楽しく、あつという間に時間が過ぎました。

六年生の皆さん、ありがとうございました。

●授業の主な内容

「朝食の役割」

「早寝・早起き・朝ごはんを食べようー！」
「いただきます」と感謝の気持ちをこ
とばで！

●朝食を食べるとなぜ良いのだろう!!

①体が活性化し、脳が目覚め勉強や運
動が元気にできます。

②脳のエネルギーの源はブドウ糖で
す。(ご飯・パン・麺のなかまは体
内でブドウ糖になります)

③体温が上昇し体の調子がよくなりま
す。

④胃腸が刺激されて、排便しやすくな
ります。

⑤1日3食、食べることで消化・吸収
ができ肥満を防ぎます。

◎他に「ジュースの中の砂糖の分量は
どのくらいかな」「子どもの食育」
「5つの力」「食育クイズ」「減塩と
野菜摂取で生活習慣予防を！」などお
話しました。小学校高学年から中学
生のころは発育の盛んな時期です。食
品には、生命を保ち、活動するために
必要な栄養素が含まれています。自分
に合うバランスのよい食生活で栄養を
とることが大切だと思います。

この授業の中で学んだことを一つで
も家庭でお話していただき、家庭での

楽しい食事につながれば大変うれしく
思います。

※「食育」とは、様々な経験を通じ
て、「食」に関する知識とバランス
の良い「食」を選択する力を身に付
け、健全な食生活を実践できるよう
になることです。食べることは、生
涯続きます。「生産から食卓まで」
の食べ物の循環、子どもから高齢
者、そして次世代へ食育の輪が広が
りますように。



下六人部小学校の自まん

下六人部小学校 六年 吉 良

ほとくの学校、下六人部小学校の自ま
んは、「下六伝統のあいさつ」と「全
校ミュージカル」です。

この伝統のあいさつの仕方は、「帽
子をとって、立ち止まって、大きな声
で」と独特なのです。たぶん、ほかの
学校でこんなあいさつをすると、不
思議に思われると思います。

でも、それを逆に良い方向に考えて
みると、相手に印象付けることにな
ります。それは、つまり相手の心、記憶
に残るといことなのです。ただ、最
近少しあいさつが乱れてきていたの
で、全員あいさつの運動を始めまし
た。ほくは、最高学年として手本とな
る伝統のあいさつをしています。

もう一つの自まんは、「全校ミュー
ジカル」です。これも、ほかの学校に
はないと思います。全校三五一人で
ミュージカルをやりとげた時の達成感
と喜びがわき上がってくるのです。

また、全校が一生懸命取り組むこと
で、悲しいときは悲しそうに、楽しい
ときは楽しそうに、感動の時は感動的
に表現していくので、見ていても、演
じていても楽しいです。地域や保護者
の方も、伝統として続いてきたミュー
ジカルを楽しみにされています。そし

て、毎年「感動して涙が出ました」
「来年も楽しみにしています」などの
感想をいただきます。

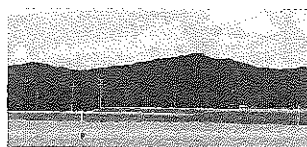
ほくは、この伝統を受けつぐ下六人
部小学校を、ほかの学校にも「知って
ほしい」と思っています。



編集後記

誰にとっても幸せな
地域づくりのためには、
人と人との出会い、つ
ながりやふれあいとい
ったことがとても大
切になってきます。福
祉推進協議会では引き
続き、地域の絆を深め
る様々な事業に取り組
んでまいります。

◆委員
芦田、飯原
大江、武田
竹中、西尾
福山
(アイウエオ順)



岩間からの「ふなやま」の遠望です。

後になりましたが、
原稿の執筆をお世話に
なりました皆様方には、
お忙しいところ快く引
き受けていただき感謝
申し上げます。また、
下六人部小学校の児童
様には、心温まる作文
をありがとうございました。